佐田厚生会 佐田病院 佐田正之院長・理事長（58）

トップ直撃 風を起こせ

九州のゴッドハンド

最先端医療で胆のう摘出手術

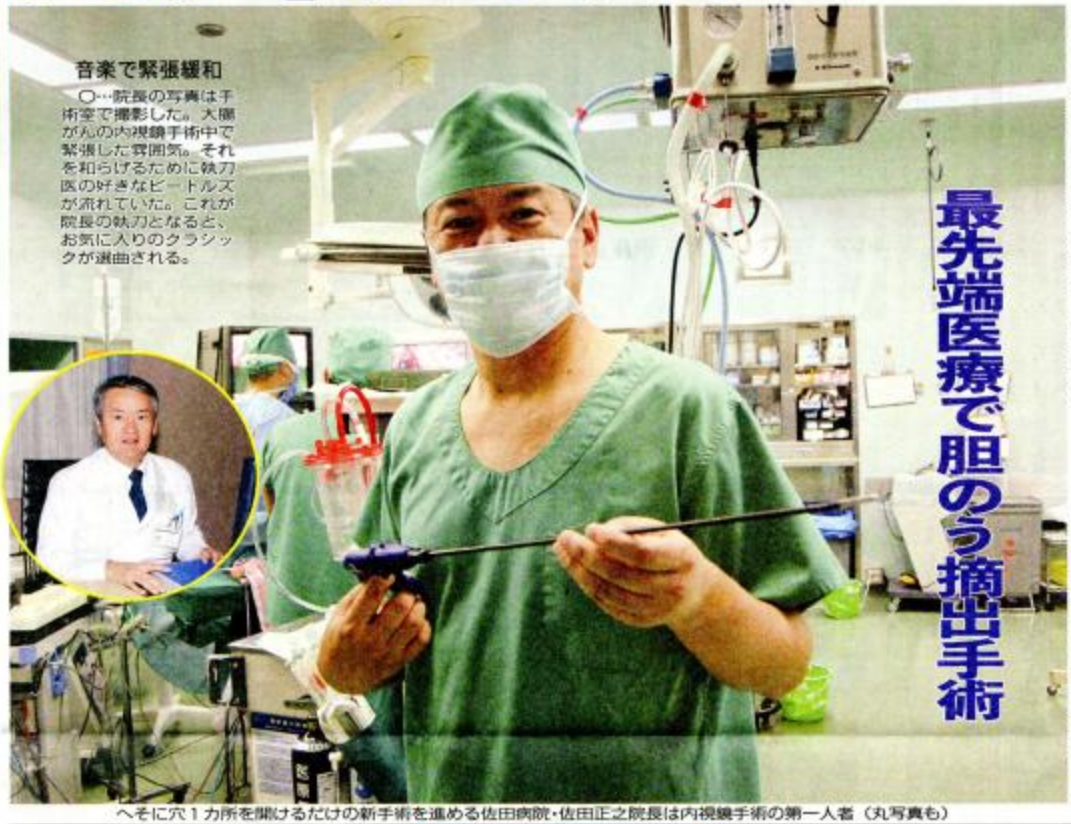
胆のう摘出のゴッドハンド。医療法人「佐田厚生会」佐田病院（福岡市）の佐田正之院長・理事長（58）は91年1月から内視鏡手術による胆のう摘出を手掛け、やがて国内最多の5000例に達する。この手術では開腹せず、患者のダメージが少なく1週間ほどで6日の入院で済む。また、今年からそれに1カ所の穴を開けるSPS（臍口が1カ所の腹腔・ふくろう）鏡下手術を始め、すでに30例となる。九州では佐田病院と大分医大だけで可能な最先端医療である。（野戸　幸治）

福岡初、ヘソに穴を一つだけ開けるSPS手術の症例は30以上 ❷術後、傷は目立たない

大関・琴光喜も胆石手術

大関・琴光喜は02年11月に胆石の内視鏡手術を受けている。佐田院長はその経過をエッセーにまとめている。抜粋してみると。

「当院で昨週、触診、腹部の超音波検査を施行、4センチ以上もある胆石と胆のう壁の肥厚が認められた。しかし、九州場所の直前、痛みが起きないよう、脂っこいものを控えるよう伝えると琴光喜は『先生、それは無理です。脂っこいのを食べないと力が出ません』と固辞。結局、場所後に手術を受け、1時間で終了。翌朝から食事を始め、すべてまぬがれた。次の日から食事量を増やしたという。佐田院長は『精進してもらいたい』と結んでいる。



音楽で緊張緩和

○…院長の写真は手術室で撮影した。大腸がんの内視鏡手術中で緊張した雰囲気。それを和らげるために執刀医の好きなビートルズが流れていた。これが院長の執刀となると、お気に入りのクラシックが選曲される。

へそに穴1カ所を開けるだけの新手術を進める佐田病院・佐田正之院長は内視鏡手術の第一人者（丸写真も）

第一人者！

患者が苦痛にあえぐ胆石症。91年から内視鏡手術で胆のう摘出し、救われた患者はやがて全国最多の5000人にも及ぶ。国内でいち早くこの手術を取り入れた佐田正之院長はゴッドハンドと呼ばれる第一人者である。

佐田 この写真は（と示す）うちの創始者の祖父が昭和初期、九大第一外科で胃がんの手術を見学しているところです。当時は大きく切開し視野を確保するのが、いい外科医とされていました。私も外科医に成りたての時、「もっと力バッと切らんかい」と指導されました。しかし、これでは患者さんは痛いし体への負担が大きい。

佐田 そこで90年に再びドイツに留学し、内視鏡手術を勉強してきました。手術をしたくてうずうずし、91年1月に福岡で初めて導入しました。繁華街・天神に近く救急もしている同病院は歴史的に「外科」で名前が通っている。内視鏡手術でも日本のパイオニア的病院といえる。

佐田 もうすぐ胆石症は5000例に達します。切開手術だと2、3週間は入院しなければなりませんが、4カ所、腹部に穴を開ける内視鏡だと5、6日の入院で済みます。98年からは日帰り手術もしており、既に1000人以上が経験されています。

手術はガスに内視鏡を入れ、二酸化炭素で腹部を膨らませ、3本の器具で患部を摘出する。

佐田 ことし3月からはそれより進んだおへそに1・7センチ程度の穴を開け、そこから3本の器具を差し込むSPSを全国に先駆けて始め、30例になります。これだと2、3日の入院で済み、しかもおへそだから傷跡が目立ちません。女性には喜ばれています。

4本が1本

4本の穴が1本になるのだから当然、手術の難易度は上がる。熟練した外科医にしかできない。斜めのカメラを使い、鉗子（かんし）は直角に曲がる仕様。手の分、患者の負担は軽減され、在院日数も短くなる。

佐田 患者さんには喜ばれますが、経営的には入院が短くて苦しくなります。だから、いい評判を上げて多くの患者さんを迎えるようにしなければ。

手術多汗症手術は全身麻酔でわきに小さな穴を開け胸部交感神経を遮断する。手がぬれ、本人は悩む。

佐田 きょうも10人の患者さんが日本中から来られていますが「握手できない」「試験の時、紙がぬれる」と泣き出す人もいました。なぜか患者さんに美人が多いですね。手術は10分で終わり、サラサラの手で日帰りです。「先生、本当にありがとうございます」と笑顔で帰っていく患者さんの後ろ姿を送るのは医者冥利（みょうり）に尽きます。

佐田プロフ

（さだ・まさゆき）1951年7月25日福岡市生まれ、58歳。

▽経歴　福教大付属中―修猷館高―久留米大学医学部卒。84～88年西ドイツ、ミュンスター大関連病院勤務、87年佐田病院勤務、91年同病院理事長、97年同院長、03年福岡大臨床教授、04年福岡市救急病院協会会長、06年RKB毎日放送番組審議委員、09年9月の第15回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会の会長を務める。

▽趣味　ゴルフ、最近は家族とクラシックの演奏

▽家族　夫人、長男（28）九大第一外科医師、長女（28）ピアニスト、次男（22）九大医学部4年生